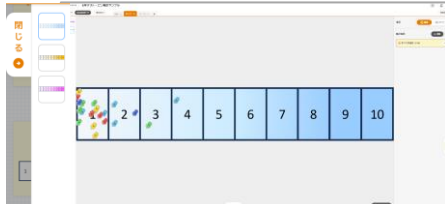
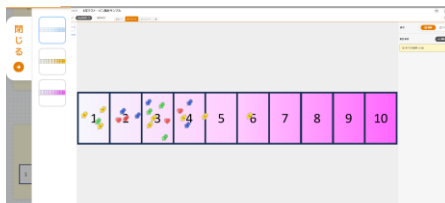



学年	教科等	単元等	活用アプリ
小1-中3	道徳・国語他	意見共有：度合いの変化を比較する	オクリンクプラス ピン集計
授業 内容	意見や心情の度合いの変化を比較する		
<div>準備：</div> <div>・共有コードを使用してカード（青、ピンク、黄色、青・ピンクの計4枚）を取得する。</div> <div>・発問数に応じて準備したピン集計用カードの1枚目を子供たちのマイボードに送信する。</div> <div>授業の流れ：</div> <div>1. 題材を読む。</div> <div>2. マイボードに送られたカードを各自開く。1枚目の発問に対して意見や心情を1～10の度合いでピンを押して表現したのち、みんなのボードに送る。</div> <div>3. みんなのボードに集まったカードを集計し、クラス全体の分布をとらえる。</div> <div>4. 2枚目のピン集計用のカードを先生から子供たちのマイボードに送る。</div> <div>5. 2枚目の発問に対して1枚目と同様にピンを押して表し、みんなのボードに送る。。</div> <div>6. みんなのボードに集まったカードをリストで切り替えて集計し、クラス全体の分布をとらえる。</div> <div>7. 発問が3つある場合は必要に応じて3枚目のピン集計も同様に取り組む。</div> <div>8. それぞれのピン集計の結果のカードを比べて、変化を確認する。</div> <div>&lt;活用場面&gt; 理解度・納得度、共感度・お勧め度、優先度・重要度など、観点を変えて以下の事前・事後の場面などにもご活用いただけます。国語（物語文）ごんぎつね／モチモチの木／走れメロス「登場人物への共感度」、社会公民（政治）「表現の自由とプライバシーの優先度」（経済）「社会保障と財政のバランス」、道徳全般 等</div> <div>サポータ おすすめ ポイント</div> <div>・「10段階の度合い」という非言語の表現は子供たちにとって親しみやすく、全員が一度はしっかり考えることができます。1～10の数字があることで先生も「1回目は3が多かったけど2回目は7が多いね」「少ないけど9に置いた人もいるね」といった説明がしやすくなります。</div> <div>・結果を見ることで発言のハードルも下がります。理由を説明するためのテキストボックスを併せて使用することもできます。</div>			
<div>発問例</div> <div>(発問例)あなたが〇〇さんだったら正直に言えますか。</div> <div>言えない:1 言える:10 として、ピン1つをおしまししょう。</div> <div>(例)</div> <div>言えない</div> <div>言える</div> <div>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10</div> <div>1回目と2回目の発問のピン集計結果の表示は同じボード上であれば容易に切り替えができます</div> <div></div> <div></div> <div>共有コード</div> <div>共有コードを入力、またはカメラを起動して二次元コードを読み込む</div> <div></div> <div>pb01K5BB51G52WNZ483DMPG0VEGS</div>			